

# くろつち便り

今月の内容

護憲駅伝(5/3) / 友の会総会・交流会(5/28)  
護憲フォーラム-照屋寛之講演(5/3) /  
市民の集い-半田滋講演(5/3) / 野草折々25  
金曜集会(6/7) / KC130抗議 / 九条の会から  
くろつち会総会・歓迎会・交流会(5/12)

## 戦争はさせません



## 第53回大隅地区護憲駅伝大会

10時開会式、道下さんの進行のもと、真島さん、前野県議、米永市議、中馬市議と挨拶が続いて、伊藤周平さんからのメッセージも読み上げられました。



前野県議「今日は、憲法を守るということを市民にアピールしてください」

3日憲法記念日、恒例の護憲駅伝がありました。今年は昨年よりも2チーム多い、13チームが出場しました。

・・・戦後72年間、戦争をしてこなかったという事実を、これからも大切にしていきたい。・・・  
(真島大会委員長)

各チーム、選手の配置が済み11時市役所前をスタート。中馬さんは、「社会党、9条の会チーム」のアンカーとして出場しました。

米永市議「今日の話を話したら、いつも護憲駅伝を応援していますと言う市民がいました。護憲を訴えていきましょう」



中馬さん「次の時代を担う子ども達に、憲法をしっかりと引き継いでいきましょう」



←2017年8/29日、講演中の伊藤周平さん



メッセージ伊藤周平さん「安倍政権に改憲発議をさせないことが大事です。憲法ではなく、今の政治を変えていきましょう」

### 毎月第1金曜日は金曜集会

前のデータを探っていたら、初期の金曜集会の様子の映像があった。故有馬純孝さんのギターで歌声から始まって、最後は大通りをデモ。今は毎週というわけにはいかないが、せめて月1回は続けられたらと思う。次回は



6月7日、18時～19時  
イベント広場前の通りで、スタンディングアピール。脱原発や憲

### KC130噴射飛行訓練に抗議

5月17日はかなりの強風の中、腹立たしくも慣熟飛行が強行された。タッチアンドゴーが2回ほどあり、南へ飛び去った。次回は22日、なんと20時。



労金友の会総会・交流会  
5月28日(火)17時 / ホテル大蔵  
交流会18時～ / 申込は内俊朗へ

### 「くろつち便り」インターネット掲載

僕が任されているHP(ホームページ)の容量に若干の余裕があったので、2014年6月からこれまでのくろつち便りを掲載しました。インターネット閲覧ができる方、

<http://www5.synapse.ne.jp/heart/kuro/kaihou.html>

にアクセスしてみてください。くろつち便りをカラーで見られます。(HP依頼団体には内緒ですが..)

ただ容量を抑えるためにA6版に縮小しています。拡大するには、「便り」をクリックして画面上部に現れる[□、-、+]の□を1回クリックすると縦幅が、2回クリックで横幅が画面一杯に広がります。[-、+]で調整。

ここ数年の「くろつち便り」で、これまでの会の歩みを掴めるだろうと思います。(榎園)

11時40分頃、中馬さんがゴールし、見事アピール賞に輝きました。



おつかれさまでした。  
(文責 榎園哲思)

## 安倍改憲を阻止するために—沖縄の反基地闘いが示唆するもの

講師 照屋寛之 沖縄国際大学教授  
報告 松下 徳二

**護憲** この日は鹿屋では伝統を誇る護憲駅伝大会があったのですが、所要もあり、早朝から鹿児島に。二つの講演会、その間に天文館で、スタンディングアムピールもあり、充実の一日となりました。

鹿屋知人からは7, 8人の参加。鹿児島教職員互助組合会館大ホールは200人で満員。

早口で聞き取れないようなところもありましたが、レジメに沿って話された中から抜粋して紹介します。

一つは沖縄の基地問題 あの狭い沖縄に、米軍基地だらけ、日本にある米軍基地の70%以上が沖縄に集中している。事故事件も絶えず、被害も多種多様。

世界一危険と言われる普天間移設問題では「ハワイやグアムに引き上げてもいい」とする米国に日本側が引き留めているなどと。辺野古移設に沖縄の総力を挙げて反対を続けている。選挙のたびに反自民候補が勝ち続けている。

二つ目は安倍政権への批判。不正問題多発、平和に逆行する法律制定、真っ先に擁護し厳守すべき憲法の非難（これがまた支離滅裂）を平然と発言し続けている。そして「緊急事態法制定」、これが制定されれば、憲法改悪問題も消滅、何でもかんでも緊急事態だからと制限され、あの戦争中の事態と同じになる。



安倍自公政権の現在を戦前に引き戻そうとする執念はすごいというお話でした。

私は戦前生まれですが、戦後は貧しいながら、自由にのびのびと過ごしてきたという何物にも代えがたい思いを持っています。安倍政権が狙う戦前への回帰は命を懸けてでも反対、阻止したいと決意を固めて帰途につきました。

## 講演「日本は戦争をするのか」講師 半田滋

5/3市民のつどい(県民交流センター)  
報告 樋園光子

届けて頂いたチラシが気になって仕方がなかった。5/3市民のつどいの半田滋さんの講演「日本は戦争をするのか」である。鹿児島市だと1日かかりだなと思いながらも、やっぱり行くことにした。

県民交流センターに着いてびっくり。たくさんの方が集まっていた(次の日の新聞によると500人)。私と同じように、危機感を持っている人が多いのだと思う。

組合員歴36年、末端にしがみついていただけの私だが、「日本は絶対に戦争をしない」と信じていた。加害国として、被害国として、強い反省のもとに新しい憲法が生まれたの

ではなかったか。世界に誇る9条が生まれたのではなかったか……。

半田さんの講演を聞いて「やっぱり……」と怖くなった。安倍政権のやりたい放題の政治姿勢。「特定秘密保護法の制定」「安全保障関連法の施行」「改憲への動き」等々。「まさか……」と危惧していたことが、確実に戦争へと近づきつつあると感じた。

財源がないと、社会保障費をどんどん削りながら、防衛費は無尽蔵にとというくらいに増やしていく。

80才を越えた先輩方の言葉が心に染みる。「二度と戦争をしてはならない。子ども

たちに私たちのような悲惨な想いをさせてはならない。」

安倍政権の暴走を止めるには、みんなで「No!」の声を上げるしかない。「選挙で勝つ」しかない。自分に何ができるか考えなければと思う。



半田滋プロフィール／東京新聞論説兼編集委員、獨協大学非常勤講師、法政大学兼任講師  
著書に「日本は戦争をするのか」(岩波新書)、「僕たちの国の自衛隊に21の質問」(講談社)等

# くろつち会総会

年1回の総会が5月12日(日)、千成本店で10時開催。

53名(内、来賓5名)の参加でした。

(以下、挨拶は断片的です。発言者の趣旨・意図と、随分異なるだろうと思いますが、その点をご容赦を・・・文責 樋園)



松尾会長「改憲派、護憲派、両方の集いに若い人たちが殆どいないというのが心配です。…私たちには教え子がいる。その子たちとどうつながりをもつか、頭の片隅に入れてもらえればいい。…安倍の改憲を打ち破るために、私たちがよまげたりできません。」

県退教南良樹会長のメッセージ(迫田さん代読)「県退教は平均年齢が80才を超えている。今後さらに、くろつち会の活動に学びながら運動を進めていきたい」



一松支部長「人事評価制度は、佐賀と鹿児島はこれまで給与への反映はさせてこなかったが、今年から勤務業績や能力評価が入ってくる。…専従がいないのでこれまで以上に大変だ」



野呂さん「皆さんに大変お世話になりましたが様々な要因で敗れてしまいました。(松尾会長が体調を崩した話をノロウイルスに結びつけ)今後は、野呂ウイルスで心配かけないようにしたい」



地域の活動で少し遅れて到着の中馬市議「地域を回って、一人暮らしの方が多いのに驚きました。この方々の税金で私たちの暮らしが成り立っている。いろんな生活、いろんな思いがある。去年は教育問題が中心でしたが、今年はいろんな方の思いを議会に届けていきたい。」

遠島県議「他候補が前回より1,000票ぐらいずつ減らしている中、みなさんのおかげで前回より90票上乗せできて当選できました。川内原発など、みなさんのご期待に添うように頑張りたい」



## New Face 新加入者6名



小手川洋子さん



ゆっくり過ごしている現在がとても幸せです。いろいろ教えて頂きながらやっていきたいです。

谷口桂子さん



外で子どもの声があると学校を思い出していましたが、ひと月経ってようやく慣れてきました

茶園亮一さん



(学校は辞めたが)町内会長という役が回ってきて、その仕事を通して地域と関わり合っています。無職というのは素敵な言葉ですね。



職員会での発言とか、再任用の立ち位置を探しているところです。今の学校は、20年前の校務分掌がそのまま残っています。



事務職の場合、大きな学校が多いけど、行いが善かったので、私や福永さんは小さな学校に任用されました。



通帳の大金にびっくり。退職金でした。介護でも何でもゆっくり自分のペースでやっていけるところがいいです

津曲進さん

日高忍さん

福崎峰子さん

## 協議

議長は日高南海雄さん。「(季節柄「鯉のぼり」のメロディー)♪ひ～だ～か～の♪な～み～お～♪」と歌いながら挨拶。日高さんのユーモア溢れる名進行で、会がスムーズに運びました。

新役員の松田裕一さん→

頼まれた以上「はい」と言っていました。



## 5/12 歓迎会・交流会

新加入者を迎え、歓迎会・交流会会場は、最初からにぎやかな雰囲気。



上蘭副会長「安倍の野望を打ち砕くために、負けずにガンバロウ。カンパイ!!」



前野県議「自民党の独占を阻止できた。県民連合の幹事長として頑張りたい。」



柳県議「厳しい選挙でした。お陰様で1万票を超える得票を得ました。特にくろつち会の方々、本当にありがとうございました。県民連合の会長として原発の再稼働や3号機増設等々山積する課題にしっかりと立ち向かいたい。」



「年2回、顔を合わせれば元気がでる。」  
「新加入の若い人たちに元気ももらった。」等々の声。お互いの空白の時間を埋めるかの如く話がつきない。



### 川口柳子さんの指揮で組合歌

濃い交流に満足できたのか歓迎会は予定より早い2時30分には終了。上山さんからご指名のメッセージがあり「雅」での延長戦を楽しんだ人も。

年末の忘年会でまたお会いしましょう。  
(報告 野口幸司郎)



### 茶園亮一さんの団結ガンバロウで閉会

### 九条の会から

○総会&講演会 6月16日(日) 午後1時～  
鹿屋東地区学習センター(新川町 114-2)  
講師 飯田泰雄 鹿児島大学名誉教授  
「日本の海や空は誰のもの?」

○今年も南九州新聞への意見広告を出します。  
ご協力をお願いします。 個人500円  
目標、500人以上です。  
連絡先 松下 0994-44-9687

## 野草新々-25-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

### ハルリンドウ (リンドウ科)

霧島はこの花の名所。 瑠璃色の花は、高原に春の到来を告げているようで 歓喜の声が聞こえてくるような気持ちになる。

写真は2006年5月21日  
霧島の中岳で撮影

